

ネイティブヒトカテプシンS

Cat. No. NATE-0178

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 カテプシンSは、主に脾臓と肺マクロファージに見られるリソソームシステインプロテアーゼです。そのレベルは、アルツハイマー病やダウン症の人々の脳組織で上昇しています。カテプシンSは、アミロイド前駆体タンパク質をアミロイドペータペプチドに加工する機能を持つ可能性があります。

用途 ヒト脾臓由来のカテプシンSは、豚のカテプシンD（CTSD）遺伝子の配列同定、組織分布および多型性を評価する研究に使用されました。ヒト脾臓由来のカテプシンSは、新しい有望なカンプトテシン類似体-多糖類コンジュゲートを調製する研究にも使用されました。

別名 CTSS; カテプシンS; EC 3.4.22.27; FLJ50259; MGC3886

製品情報

種	人間
由来	人間の脾臓
形態	凍結乾燥粉末。100 mM アセテートナトリウム、pH 5.5、および 1 mM EDTA から凍結乾燥されました。
EC番号	EC 3.4.22.27
代謝経路	適応免疫系、特定の生物に特有のバイオシステム; 抗原処理と提示、特定の生物に特有のバイオシステム; 抗原処理と提示、保存されたバイオシステム; 抗原処理-クロス提示、特定の生物に特有のバイオシステム; クラスII MHC媒介の抗原処理と提示、特定の生物に特有のバイオシステム; エンドソーム/バキュオール経路、特定の生物に特有のバイオシステム
機能	システイン型エンドペプチダーゼ活性; ペプチダーゼ活性
単位定義	1ユニットは、pH 6.5、25°Cで10分間にZ-Val-Val-Arg-NHMecを加水分解し、2ナノモルの7-アミノ-4-メチルクマリンを生成します。

保管・発送情報

保存方法 -70°C